

記入例

いずれの様式についても、電子データで編集する際に、記入欄を拡げていただいて構いません。

第1号様式（第7条関係）

市民活動推進補助事業企画書	
令和7年11月●●日	
(あて先) 茅ヶ崎市長	
所在地 茅ヶ崎市茅ヶ崎●-●-●	
提出者 名称 歌体操でげんきを広める会	
代表者氏名 代表 茅ヶ崎 太郎	
次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。	
団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	※下の20分野から該当するものを選んで記入してください(複数回答可) ① 保健、医療又は福祉の増進を図る事業 (2) 社会教育の推進を図る事業 (3) まちづくりの推進を図る事業 (4) 観光の振興を図る活動 (5) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動 ⑥ 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業 (7) 環境の保全を図る事業 (8) 災害救援事業 (9) 地域安全事業 (10) 人権の擁護又は平和の推進を図る事業 (11) 国際協力を行う事業 (12) 男女共同参画社会の形成の促進を図る事業 (13) 子どもの健全育成を図る事業 (14) 情報化社会の発展を図る事業 (15) 科学技術の振興を図る事業 (16) 経済活動の活性化を図る事業 (17) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充の支援を行う事業 (18) 消費者の保護を図る事業 (19) 市民活動団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助を行う事業 (20) その他実施する事業 分かりやすい事業名を記入してください
事業の名称	歌って踊ろう歌体操教室～いつまでもげんきハツラツ！～
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和8年4月1日から令和9年3月31日まで
事業開催日だけでなく、準備から報告書の作成まで含むため、「令和8年4月1日から令和9年3月31日まで」で差支えありません。	
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

- 備考 1 「事業の区分」欄には、第5条各号に掲げられた事業の区分に該当するものを選択してください。
- 2 この企画書には、次の書類を添付してください。
- (1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
- (2) 構成員の名簿

名簿に必要な項目は、次の3点です。

1. 氏名
2. 役職名
3. 住所（構成員の1/2以上が茅ヶ崎市在住であることを確認するため。なお、市外在住で、市内に在勤・在学の方は、その旨と、勤務先又は学校名を明記してください。）

記入例

1 ページ以内で
ご記入ください

第2号様式（第7条関係）

市民活動団体概要書

名称	歌体操でげんきを広める会 ※団体名を記入してください。	
連絡先	氏名：茅ヶ崎 花子 住所：茅ヶ崎市茅ヶ崎●-●-● ※日常的に連絡の取れる方を記入してください。 電話番号：090-1234-5678 ファクシミリ番号：0467-12-3456 電子メールアドレス：shiminjichi@ci	
設立年月日	平成27年4月1日	
構成員数	12人（うち役員3人） 市内在住（在勤及び在学を含む。）者 9人 その他 3人	
情報の公開の方法	☐ ホームページへの掲載 ☒ その他の方法（茅ヶ崎市民活動団体ガイドブックに掲載・Facebook）	
設立の経緯	もともと、親の介護をしている人が近隣の人を誘って自然と集まって、介護に関する情報共有や、悩みの相談などを行っていた。その中で、介護を受けるような高齢者にはなかなか体を動かすチャンスがないことに気づき、自分たちの介護経験をもとに、全国歌体操協会の歌体操を茅ヶ崎風にアレンジして茅ヶ崎の歌体操を考案した。最初は近隣地域に限定して活動していたが、歌体操のニーズは地区を問わず存在すると感じたため、団体として立ち上げ、地域に貢献する活動を始めることにした。	
活動の目的	歌体操を通して高齢者のげんきを支え、健康寿命を伸ばす。	
主な活動内容	・希望があった家庭や施設を訪問し、歌体操を実施 ・自治会の老人会イベントへの協力	
年間決算額	52,000円 ※補助申請額ではありません！ ※団体の昨年度（令和6年度）の決算額を記入してください。	
補助金の状況	団体名： 補助金の交付を受けた年	

市民活動推進補助事業を含む、これまでに交付を受けた補助金について記入してください。

今回申請する事業の予算額ではなく、**昨年度一年間に団体としていくら使用したか（決算総額）に相当する額を記入してください。**
 千円未満は切り捨ててもかまいません。
※今・昨年度に設立された団体は記入不要です。

場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

主な選考の視点
「公益性」
「事業実現性」
「自立性」

市民活動推進補助事業を受けて、実施したい事業についていつ、どこで、誰を対象に、何を実施するか具体的に記入してください。また、工夫した点や補助回数が2回目以降の団体は前回からの改善点なども記入してください。

「歌体操教室」：童謡（10曲程度）を歌いながら簡単な運動と体操を行う事業。
（日程） 6月以降 毎月第3水曜日 午前1時間半程度を予定（全10回）
（場所） コミュニティホール大会議室（2分の1）
（対象） 市内の高齢者（65歳以上） 各回15名まで【事前予約制】
（費用） 1回につき、100円（歌詞カード代）
9月・2月の回には、市内の整骨院から整体師を招き、歌体操の前後や自宅のベッドでもできるストレッチを教わります。
また、4月に準備会合を、3月に反省会を開きます。

想定されるリスク
への対応を記入して
ください。

【衛生管理、安全管理等】

参加者に対してマスクの着用とアルコール手指消毒を呼びかけます。
ケガに備えてレクリエーション保険に加入します。
緊急時の対応マニュアルを整備しスタッフと共有します。

主な選考の視点
「公益性」

この事業を実施したいと考えたのはなぜですか。こういった市民ニーズを踏まえて事業に取り組もうと思ったのか教えてください。

事業の背景
について

私たちの団体は、親の介護をしている人が自然と集まって結成されました。介護される高齢者はなかなか体を動かすチャンスがなく、新型コロナウイルス感染症によりさらにフレイルが進んでいます。
高齢者の方々に少しでも体を動かしてげんきでいてもらいたい！という思いで、みんなで簡単な歌体操を考えました。この歌体操は、全国歌体操協会の歌体操をもとに、烏帽子岩のポーズを取り入れるなど、茅ヶ崎風にアレンジしたものです。自分たちの親がいきいきと歌体操をする様子を見て、この歌体操を市内に広めたいと思い、この事業を計画しました。
基礎疾患を持つ高齢者もいますので、感染症対策には十分に配慮しながら、今だからこそ貴重で重要な運動の機会を提供していきたいと思います。

主な選考の視点
「公益性」

事業の目的や
効果について

この事業を実施することで、まちの課題に対して、どのように貢献できると考えますか。事業を通して生まれる効果や影響を踏まえて、具体的に記入してください。

- ・歌体操を無理なく楽しく続け、体を動かすことにより、寝たきりにならず健康寿命を伸ばすことができます。
- ・歌体操のために外出してもらうことができ、また、交流が生まれ、お年寄り同士のつながりの形成や生きがいづくりにつながることも期待できます。

主な選考の視点 「公益性」 「事業実現性」	誰をターゲットに、どのように広報・周知しようと考えていますか。 (使用予定の媒体にチェック) ☒チラシ・ポスター ☐パンフレットなどの刊行物 ☐ホームページ ☒Facebook ☐Twitter ☒Instagram ☐その他の SNS () ☒市の広報紙 ☒市の広報掲示板 ☒口頭にて伝達 ☒その他 (会員所属の自治会のまつりでビラ配り、DM)	あてはまるものにチェックをしてください。
事業の広報 について	・チラシやポスターの配架を考えているのは、公民館（5館×20部ずつ）、コミュニティセンター（11館×10部ずつ）、ちがさき市民活動サポートセンター（50部）です。 ・チラシは市の広報掲示板にも掲載を依頼します（146箇所）。 ・6月、7月の回については、市広報紙への掲載を依頼します。また、8月以降も継続参加の意志がある方のうち、希望される方には、ダイレクトメールを送って継続を促します。	
主な選考の視点 「発展性」 「自立性」	次年度（令和9年度）以降の事業の展望や目標について、ご記入ください。また、それを実現するために必要となることを教えてください。（実施体制の強化や資金面での工夫など。）	
今後の展望 について	依然として収束が見えない新型コロナウイルス感染症や高齢により外出することが困難になる方も出てくると想定されるため、今後の展開としては、歌体操の動画を制作し、YouTube等で公開することで、自宅でも気軽に歌体操ができる環境を整えていきたいと考えます。 また、継続的な事業にするために、使用料等の費用負担が少ない公共施設等を活用していくことや、インストラクターの養成にも取り組んで行きたいと考えます。	
ステップアップ支援申請団体は必須 (スタート支援申請団体は任意)		
主な選考の視点 「事業実現性」	会員内でどのような役割分担をしながら事業を進めますか。総括、会計、広報、庶務（資料作成や会場手配等）、外部との連絡調整など、事業に必要な役割とその従事人数を教えてください。 また、協力者や関係団体などがあれば併せて記入してください。	
事業の実施体制 について	総括 代表者 1人 会計 1人 広報（チラシ・パンフレット・はがき作成、配架・発送、SNS等の運営） 3人 歌体操のインストラクター・補助 10人 （※このうち4名の会員が全国歌体操協会のインストラクター資格を取得済） 伴奏 1人 【協力者】 講師 市内の整骨院「げんきもりもり整骨院」の整体師（9月・2月の回）	

備考 「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

記入例

収支予算書

「収支予算書」は、市民活動推進補助事業の補助を希望する事業に要する事業費のみについて記入してください。
（団体のすべての予算を書くものではありません。）

主な選考の視点
「費用の妥当性」
「事業実現性」
「自立性」

		内 訳
1 会費収入	■■■■	
2 事業収入	■■■■	参加者負担費用 ■■■円×○人
3 寄附金収入	■■■■	
4 補助金収入	■■■■	市民活動推進補助制度

市民活動推進補助金は、「補助金収入」の区分に計上してください。

市民活動推進補助事業の補助額は、千円未満の端数は切り捨てです。

★計算方法：合計額から事業収入及び他の補助金等を控除した額に補助率を乗じた額またはスタート支援は10万円、ステップアップ支援は50万円のどちらか低い金額です。（補助率：スタート90%、ステップアップ①80%、②70%、③60%）

合計	▲▲▲	「収入の合計額」と 「支出の合計額」は 同額としてください。
----	-----	--------------------------------------

支出

科 目	内 訳
1 賃金（会員外）	アルバイト ■■■円×○人×○日
2 謝金	■■■円×○人×○日
3 旅費	■■■駅～■■■駅（往復） ■■■円×○人×○日
4 物品費	（物品名）■■■円×○個
5 印刷製本費	◎チラシ■■■枚 印刷代 ■■■円 （ネット印刷＋デザイン） ◎★団体パンフ■■■枚（ネット印刷） ■■■円切手×○枚
6 通信運搬費	
8 使用料・賃借料	■■■会館■■■会議室
合計	▲▲▲

支出については、原則として3ページの経費科目ごとに区分し、積算の根拠を詳しく記入してください。
団体の運営費は補助の対象になりません。

消費税は10%で計算してください。

様式に既に記入されている経費科目のうち、不要なものは削除して構いません。
また、必要があれば、科目名を修正・追加することも可能です。

*物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね1年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、物品購入理由書を提出してください。

備考1 示された支出科目は、必要に応じて削除又は名称を修正することができます。

備考2 内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

備考3 デザイン、印刷、WEB制作等事業の一部を外部委託の際は、頭に◎を付け内訳を記載してください。

対象経費の具体例

※「歌って踊ろう歌体操教室～いつまでもげんきハツラツ！～」事業を、
スタート支援に申請する場合：

収入

科目	金額	内訳
1 団体収入	10,830	「歌体操でげんきを広める会」にて負担（会費、団体への寄附等、団体資金から充当）
2 事業収入	15,000	参加費 100円×15人×10回
3 補助金収入	96,000	市民活動推進補助金
合計	121,830	

支出

科目	金額	内訳
1 謝金	20,000	市内整骨院の整体師への講師謝礼 10,000円×1人×2回（9月・2月）
2 旅費	7,400	バス（湘南みずき～茅ヶ崎）195円×往復×会員1人×10回 バス（柳島～茅ヶ崎）175円×往復×会員1人×10回
3 物品費	16,570	電子キーボードピアノ 12,420円 歌詞カード用A4コピー用紙（500枚1束）550円 手指消毒用アルコール（500ml×3本）1,500円 不織布マスク（50枚×3箱）2,100円
4 印刷製本費	11,000	◎チラシ1,000枚（ネット印刷）2,100円 ◎★団体PRパンフレット1,000枚（ネット印刷）8,900円
5 通信運搬費	4,960	ダイレクトメール用はがき 62円×10人×8回（8月以降）
6 保険料	10,500	レクリエーション保険（参加者用）70円×15人×10回
7 使用料・賃借料	51,400	コミュニティホール大会議室（2分の1、平日） 5,140円×10回
合計	121,830	

＊物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね1年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、物品購入理由書を提出してください。

スタート支援の補助上限額は事業収入及び他の補助金等収入を差し引いた額の90％に補助率を乗ずる。または10万円のいずれか低いほうを上限とします。

この事業の場合には、

（121,830円（総事業費）－15,000円（事業収入））×90％補助率＝①96,147円と②100,000円では、①のほうが金額が低いいため、補助上限額は、96,000円（千円未満切り捨て）です。